

2018/2019 年度 第 3 回全国委員会 議事要旨

日時: 2019 年 3 月 24 日(日) 10:30-17:00

会場: 筑波大学東京キャンパス 1F116 講義室

出席者: 呑海沙織(委員長), 上村順一(事務局長), 赤澤久弥(常任), 北川正路(常任), 西脇亜由子(常任), 和知剛(常任), 山下大輔(全国大会実行委員長), 川端幸枝(北海道), 加藤晃一(千葉), 山口友里子(東京), 中島慶子(東海・地域文化研究), 安東正玄(京都), 吉田弥生(大阪), 井上昌彦(兵庫), 楫幸子(広島・学術基盤整備研究代理), 矢崎美香(九州)

配付資料:

1. DOC 企画進捗状況報告
2. 編集作業進捗状況報告
3. 大図研五十周年記念出版物編集小委員会第 1 回委員会記録
4. 海外研修について
5. 海外研修についての概要, 会計と申込についての報告
6. シンボルマーク募集のご案内
7. 収支状況報告
8. 地域グループ別会費納入状況一覧
9. 2019 年 6 月末日退会対象者リスト **取扱注意**
10. 会員現況報告
11. グループ活動報告
12. 第 50 回全国大会(兵庫大会)実施概要(案)
13. 舞子ビラフロア平面図
14. 第 50 回大図研全国大会(兵庫大会)スケジュール(案)
15. 第 50 回全国大会(神戸大会)予算(案)
16. 大図研会員の地域グループ参加への対応について
17. 大学図書館問題研究会誌投稿規程改定(案)
18. 大学図書館問題研究会誌査読規程(案)
19. 会費長期滞納者の除籍手続きについて(案)
20. 会員情報のグループ関係者への安全な引き渡し方法提案

1. 報告事項

1.1 小委員会・事務局

1.1.1 全国大会小委員会

・報告事項は, 審議事項を参照のこと。

1.1.2 研究企画小委員会

1) 第 27 回大図研オープンカレッジ(DOC)企画進捗状況

・西脇研究企画小委員長から, [資料 1]により企画内容について説明があり内容を確認した。中島全国委員から, 会場の収容人数は最大 100 名程度だが参加者数 50 名想定で予算案を提示予定, 東海地域グループとの共催予定について補足説明があった。広報については愛知県内の大学図書館などへの会報送付も予定していることが報告された。

1.1.3 会報編集小委員会

1) 編集作業進捗状況報告

・和知会誌編集小委員長から, [資料 2]により進捗状況について説明があった。

1.1.4 会誌編集小委員会

1) 会誌の価格設定について

- ・和知会誌編集小委員長から、2018/2019 年度以降会誌の発行回数を 2 回から 1 回への変更に伴い価格変更も検討したが、2018/2019 年度については従来通り 1,000 円(グループ卸 600 円、会員 800 円)とすることについて、報告があった。
- ・和知会誌編集小委員長から、査読依頼の準備を進めていることについて報告があった。

1.1.5 広報小委員会

1) 現況報告

- ・上村事務局長から、小委員会の体制づくりを進めていることが報告された。

1.1.6 五十周年記念事業記念出版物編集小委員会

1) 現況報告

- ・記念出版物は冊子体刊行を前提としていることを含めて[資料 3]により小委員会記録を確認した。刊行部数については確認することとした。今後小委員会から予算案を提出することを確認した。

1.1.7 五十周年記念事業海外図書館研修ツアー検討小委員会

1) 海外研修について

- ・呑海委員長から、[資料 4-5]により説明があり、参加報告の方法(全国大会の研究報告や会報もしくは会誌など)や助成金対象者等について確認した。

1.1.8 五十周年記念事業大学図書館問題研究会の名称に係る検討小委員会

1) シンボルマーク募集への変更および変更に関する「お詫びと訂正」について

- ・和知会誌編集小委員長から、小委員会メンバーについて報告があった。また、[資料 6]により、シンボルマーク募集に関する訂正については会報に掲載するとの報告があった。
- ・既存のシンボルマークについては、新たなシンボルマークに置き換える予定であるとの説明があった。

1.1.9 事務局

1) 事務局業務進捗報告

上村事務局長から、次の報告があった。また、常任委員会では 2019 年以降 ZOOM を使用し、オンライン会議を行っていることについても報告があった。

- ・2018/12/02(日) 2018/2019 年度第 2 回全国委員会開催
- ・2019/02/09(土) 2018/2019 年度第 4 回常任委員会開催
- ・2019/03/16(土) 2018/2019 年度第 5 回常任委員会開催

1.1.10 事務局出版担当

- ・報告事項なし

1.1.11 事務局会計担当

1) 収支状況報告

- ・上村事務局長から、[資料 7]により報告があった。

1.1.12 事務局会費徴収担当

1) 会費納入状況報告

- 2) 会費長期未納者への督促対応について

- ・赤澤委員から、[資料 8]により、会費納入状況について報告があった。
- ・[資料 9]により、前回の全国委員会以降、連絡先等調査を継続しているとの報告が赤澤委員からあり、各地域グループにも改めて情報提供に関する協力要請があった。長期未納による除籍については慎重に対応する点を確認した。

1.1.13 事務局組織担当

1) 会員現況報告

- ・上村事務局長から、[資料 10]により、退会者に関して報告があった。

1.2 ワーキンググループ

1.2.1 全国大会 WG

- ・赤澤ワーキンググループ長から、全国大会マニュアルの整備について、ドキュメント化を進めているとの報告があった。

1.2.2 出版・管理 WG (担当: 呑海ワーキンググループ長)

- ・報告事項なし

1.3 グループ

- ・[資料 11]により、以下のとおり各委員から報告があった。特記事項がある場合は記載した。

1.3.1 北海道地域グループ (担当: 川端委員)

1.3.2 埼玉地域グループ (担当: 鈴木委員)

1.3.3 千葉地域グループ (担当: 加藤委員)

1.3.4 東京地域グループ (担当: 山口委員)

- ・合同例会のテープ起こし、5/25 の共立女子大見学を検討中。

1.3.5 東海地域グループ (担当: 中島委員)

- ・DOC 企画を共催。連動企画として図書館見学を検討中。

1.3.6 京都地域グループ (担当: 安東委員)

1.3.7 大阪地域グループ (担当: 吉田委員)

- ・資料保存に関する例会も検討中。合同例会報告は会報に出す方向で調整中。

1.3.8 兵庫地域グループ (担当: 井上委員)

- ・共催の Web セミナーでは神戸会場で 7 名の参加があった。全国大会の準備も進めている。

1.3.9 広島地域グループ (担当: 楫委員)

- ・3/16 の研究会では 20 名の参加があった。

1.3.10 九州地域グループ (担当: 矢崎委員)

1.3.11 学術基盤整備研究グループ (担当: 楫委員)

- ・Web セミナーについて、全体では約 20 名の参加となった。

1.3.12 地域文化研究グループ (担当: 中島)

- ・DOC との連携企画を予定。

2. 審議事項

2.1 第 50 回全国大会神戸大会

1) 実施概要・スケジュール

- ・山下全国大会実行委員長から、[資料 12-14]により実施概要・スケジュールについて説明があり、今後大会実行委員会(継続の委員、兵庫地域グループ推薦委員、公募に対する自薦委員)内での役割分担を早急に決定することについて報告があった。

2) 予算

- ・山下全国大会実行委員長から、[資料 15]により全国大会予算案について説明があり、会場費が高額となるため、現状の予算案では赤字が見込まれるが、不要な会場の節減や参加者

増加などの黒字化に努めることとし、予算案を承認した。

3) 大会テーマ・シンポジウム・企業協賛

・山下全国大会実行委員長から、資料に基づき説明があった。大会テーマについては、本タイトル「大図研 50 周年へ向けて」を残すこととしたが、サブタイトルについては大会実行委員会に一任することとした。シンポジウムについては、「高等教育改革と大学図書館の役割」というテーマで講師を打診中だが、「高等教育改革」についての講演者を検討することとした。企業協賛ブースの設置については、担当者や設置スペース、大会スケジュールなどの限界から実施困難だと考えられるため、ブース設置の代替案として今後何らかのオプション(例:ポスター掲示、休憩時間中のパワーポイント表示(一日目)、懇親会場でのビラ置きや映写など)を実行委員会にて検討することとした。

4) 分科会数及び担当者

・分科会数は午前 4・午後 4 の 8 分科会とし、各分科会の担当者を下記のとおりとした。

- ① 大学図書館史 (加藤・吉田)
- ② 利用者支援 (川端・楫)
- ③ 資料保存 (呑海・和知)
- ④ 出版・流通 (西脇[・牛島])
- ⑤ 図書館経営 (安東・和知)
- ⑥ キャリア形成 (矢崎[・鈴木])
- ⑦ 図書館建築・デザイン (中島・山口)
- ⑧ 学術基盤整備 (学術基盤整備研究 G [野間口・田邊])

5) その他

・大会名称は「神戸大会」とすることを確認した。

2.2 大図研会員の地域グループ参加への対応について

・西脇研究企画小委員長から、[資料 16]により説明があり、年度途中の地域グループ参加に対するグループ活動費については徴収しない方向で進めることを確認した。またその場合は助成金額の決定期限を現行の 7 月 1 日としても問題ないとした。この 2 点について各地域グループに持ち帰ることとし、事務局側で日程調整の上メール審議を行うこととした。

2.3 「大学図書館問題研究会誌」投稿規定の改定

・和知会誌小委員長から、[資料 17]により説明があり、年 1 回刊行・小委員会体制の変更を反映させた点などの改定について承認した。

2.4 「大学図書館問題研究会誌」査読規程の制定

・和知会誌小委員長から、[資料 18]により説明があり、査読規程について承認した。

2.5 会費長期滞納者の除籍手続きについて

・赤澤委員から[資料 19]により説明があり、除籍手続きについて承認した。
・会費長期滞納による除籍のスケジュールとしては、12 月・3 月の全国委員会で未納者リストを提示し、各全国委員が情報収集や確認をした上で、2 月の督促・5 月最終督促を常任(会計徴収)が実施することを確認した。
・除籍に関して、会則などに明記するかについては常任委員会に検討を一任することとした。

2.6 会員情報のグループへの安全な引き渡し方法提案

・上村事務局長より[資料 20]により提案について説明があり、文言を一部修正した上で承認した(「関係者」の文言の削除(要旨),「使用者」を会員に限定(請求方法),「使用者」を「該当者」に変更(罰則))。会費納入状況についてはこちらには含まれないことを確認した。申請

フォームの提示については、別途検討することとした。

2.7 大学図書館問題研究会の出版物の今後について

- ・呑海出版・管理ワーキンググループ長より前回までの経緯について説明があり、各地域グループでの検討結果を踏まえ、①会員に対してはデジタル媒体で提供する、②会員に対しては会報・会誌をまとめてデジタル媒体を無償で提供する、③機関購読・非会員に対しては会報・会誌とも紙媒体で有償提供とする、という3点を基本とすることを確認した。また、これにより、すべての紙媒体希望者(会員を含む)は有償対応とすることを確認した。
- ・その他の課題として、非会員からデジタル媒体の提供を求められた場合の対応については、場合分けや利用規約の設定が必要なため、環境が整うまでは紙媒体のみの提供にとどめることを確認した。
- ・その他、デジタル媒体の頒布方法や紙媒体の価格設定(会員・非会員、個人・機関)なども含め、本件については今後も継続検討とした。

以上